

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	第3回ふじみ野市こどもにやさしいまちづくり 条例（仮称）策定委員会			
開催日時	令和3年3月23日（火） 開会時刻 午後 1時30分 閉会時刻 午後 2時50分			
開催場所	市役所本庁舎5階 A大会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員長	小栗 俊之	委員	柳川 往子
	副委員長	中村 友紀	部長	篠澤眞由美
	委員	山城いづみ	課長	土屋 範久
	委員	風間 和江	副課長	齊藤 隆之
	委員	進藤美奈子	係長	関根 寛之
	委員	風間 清武	主任	斑目 圭介
	委員	吉田 武陽		
	委員	土屋健一郎		
会議の議題	1 こどもヒアリングの結果等の報告について 2 条例構成案について 3 その他			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0 人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	こども・元気健康部 子育て支援課			
議事の確定	確定年月日	令和3年 月 日		
	記名押印 又は署名	役職名 委員長  小栗 俊之		

## 発言の要旨

発言者	発言の要旨
事務局	<p>皆様、こんにちは。ただいまから、令和2年度第3回ふじみ野市こどもにやさしいまちづくり条例（仮称）策定委員会を開催いたします。</p> <p>まず、会議の開催にあたり、ふじみ野市では審議会等の会議の公開に関する規則を制定し、開かれた市政の実現を推進するため、会議を公開することと規定しております。本会議におきましても公開の対象となっておりますので、御了承いただきますようお願い申し上げます。また、議事録についても公開の対象となりますので、会議の御発言等を録音させていただくこととともに、今回は会議の写真も撮らせていただき、今後ホームページ等で掲載させていただきますので、併せまして御了承願います。</p> <p>なお、本日の会議の傍聴希望者はありません。</p> <p>また、本日、委員の細谷様、山崎様は欠席でございます。</p> <p>続きまして、本委員会の小栗委員長より御挨拶いただきたいと思っております。</p>
小栗委員長	<p>皆様、改めましてこんにちは。本日はお忙しい中、委員会にお集まりいただきましてありがとうございます。今回は3点ほど審議事項がございますので、短い時間ではありますが、委員の皆様のご意見をいただければと思っております。よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、本日の配付資料の確認をさせていただきます。</p> <p><b>【配布資料の確認】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議次第</li> <li>・3 / 2 3 資料1 アンケート調査等の結果報告（考察）</li> <li>・3 / 2 3 資料2 こどもヒアリング調査結果</li> <li>・3 / 2 3 資料3 条例構成案</li> <li>・3 / 2 3 資料4 各自治体こどもに関する条例の項目別比較</li> <li>・3 / 2 3 資料5 他自治体のこどもの権利関係の条例</li> </ul> <p>それでは議事に移りますが、会議の進行は、ふじみ野市こどもにやさしいまちづくり条例（仮称）策定委員会条例第6条において、委員会の会議は、委員長が議長となると規定されておりますので、小栗委員長に議事の進行をお願いいたします。</p>

小栗委員長	<p>それでは早速議題に入ってまいりたいと思います。  まず、議題（１）こどもヒアリングの結果等の報告について、事務局から御説明していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>【資料１及び２に基づき説明】</p>
小栗委員長	<p>御説明ありがとうございました。  コロナ禍の中でこどもたちの意見を収集するのは非常に大変だったのではないのでしょうか。ただいま事務局から報告のあった、こどもヒアリングの結果等について、とても大事な資料になりますので、委員の皆様お一人ずつ感じたことについて御意見をいただければと思います。</p>
中村副委員長	<p>最初はアンケートについて対象人数が少ないなと思いましたが、コロナ禍の中でここまでよく集められたなと思います。おそらく、もっと人数が多くても同じような結果になってくるのではないかと思います。アンケート調査結果の中で、家庭（親）の項目については、共働き家庭の増加や核家族化が、朝家を出る時に親がおらず、通学の時に初めて見守りの人とあいさつを交わすといったことに大きく影響しているのではないかと思います。遊び場については、コロナ禍でシニア世代の利用も増えたこともあって、こどもたちが公園で遊びづらくなったこともあると思いますが、全国的にこどもが道路を遊び場としているといった状況もニュースで見かけました。また、こどもは良いことも悪いことも大人の背中を良く見ているなと思いました。</p>
柳川委員	<p>自分のこどもが小さい頃のことですが、こどもの遊び場が本当に少なく、公園ではボールを使った遊びなどができなくて困りました。小学校で集まって遊んだりすることもありましたが、公園で遊びたいというこどもが多かったです。また、公園で遊んでいるとこどもの声がうるさいといった苦情や、公園周りだけでなく、学校の周りでもこどもの声がうるさいというので野球の練習時間を短くしたという話を聞くことが多くありました。コロナ禍で3か月間学校が休みになった時には、公園で子どもたちが何人かで遊んでいると、コロナ禍なのにこどもが家から出ているという苦情が学校に入ったという話も聞きました。難しいと思いますが、お年寄りにもこどもにも優しいというのが理想ですが、自分が今のところ聞く限りだと、こどもに対して厳しい意見の方が多</p>

<p>土屋委員</p>	<p>いのではないかと感じています。</p> <p>アンケート結果を見ている中で気になった点は、孤独に感じる子どもや自分の意見を聞いてくれる大人が欲しいという子どもが多かったという点です。自分が子どもの頃の時代とは違い、コミュニケーションを取る手段が減ってきていて、親の方も子どもが孤独に感じているのか、または何か意見を言いたいのか気付きづらいということがあると思います。特に中学生になるとこちらから話しかけてもなかなか話さないの、思春期や多感な時期にどのようにサポートしていくかが子どもたちにとって非常に重要なことではないかと感じました。</p>
<p>風間和江委員</p>	<p>アンケート調査結果には、コロナ禍の特殊な事情が反映されていると思います。以前も子どもに関するアンケートを実施したことがあると思いますので、それらと比べることができれば良かったのかなと思います。自分の子どもが小さい時には遊び場所がなく、駐車場で遊んでいて注意されたことがあり、これはいけないということで、教育委員会にお願いして校庭開放をしてもらった時期がありました。時代ごとに子どもたちが遊べる場所が考えられていました。子どもが自由に遊べるような環境を考えていかなければならないと思っています。地域には民生委員と社会福祉協議会というものがあります。地域の祭りなどを通して、子どもたちがどんなことを考え、どんな状況なのかを把握する活動を行っていますので、時代にあったものを考えていきたいと思っています。</p>
<p>進藤委員</p>	<p>コロナ禍で明らかに環境が変わりました。大人がオンラインで仕事をするようになって、家の中で子どもと一緒にいる時間増えると、親は子どもを注意したくなるし、子どもは外で自由に遊べずにストレスが溜まるようになるので、子どもにとって良くない環境だと思いました。</p> <p>また、オンラインでは友達とゲームができるし、勉強も学べてしまうので、学校に行く必要があるのかと言い出す子どもが激増していて社会問題にもなっています。今の状況がこれまで自分の経験してきたこととかけ離れ過ぎていて、学校は行くべきところだよと子どもに納得させるだけの術がなく、悩んでいるお母さんがいっぱいいます。その反面、オンラインになって、不登校になっていた子どもたちが授業を受けられるようになったこともあ</p>

	<p>り、良い方向に変わったこともあります。もっと大人がしっかり話し合って、現場のこどもと向き合って決めてもらいたいと思います。</p> <p>私はこどもたちのコーラスを立ち上げていますが、学校でもなく、家でもなく、普段とは違う社会でこどもたちをのびのびさせてあげて、常に様子を見て、いつでも相談できる場所にしたいという理念でやっています。体育関係のファイブクラブさんも同じ想いだと思いますが、そういったグループをまちで応援したり、宣伝したりして、こどもたちが居心地良くいられる環境作りをどんどんしていけたらと思います。</p>
風間清武委員	<p>こどもの遊び場に関してのことですが、自分がこどもの頃はまち中を走り回って遊んでいて、野球をやろうがサッカーをやろうが何も問題はありませんでした。遊んでいる中でボールが他の家の敷地に入ってしまった時にその家の人に怒られた経験も危機管理能力として学びにつながっていました。今は公園でのボール遊びが禁止になり、こどもたちが公園に集まらなくなってしまいました。公園では囲碁や将棋をやっているシニアの方が結構いらっしゃいます。こどもの遊び場は早急に考えていかなければならないと思います。</p> <p>市役所の近くにイオンができ、今後建設予定のマンションが完成すれば、かなり人の流れが変わってきます。子育て世代も必ず来ますので、その時に、ふじみ野市って子育てしやすいなと思ってもらえるような市にしていきたいと思っています。</p>
吉田委員	<p>全体的に時代背景の影響が大きいと感じています。仕方がないことがたくさんあると思いますが、それを今までどおりに対応するのではなく、仕方がないことをどういう手法で解決していくのかを考えていかななくてはならないのではないかと思います。</p> <p>昔はこの辺はもっと田舎でどこでも遊べました。今では家が増えてどんどん遊び場所が減ってきています。まちの発展とともに遊び場所を確保していくためには、公園という形が適しているのかという点も考えなければいけないと思います。屋内でいろいろ遊べるような施設を作るとか、具体的に対応策を計画していくことが必要ではないでしょうか。</p> <p>食については、栄養価が高い物は値段が高い傾向にあるので、経済の状況によっては偏食になってしまうということもあるのだと思います。この点は難しい問題です。</p>

山城委員	<p>テレビで見た内容ですが、お年寄りにとってこどもの甲高い声が耳障りになってしまうというものでした。こどもが公園で遊んでいる声を聴くと、お年寄りには普通の人以上に気分悪くなる場合があるのだと思います。体調が優れなければ、保育園建設や公園利用について反対の意見が出てくる気持ちもわかります。今後、地域の中でこどもとの接点をたくさん作ることが重要になってくると思います。接点をたくさん作って、こどもはかわいいなと思ってもらえれば、少しは我慢しようかなとなるのではないかと思います。公園でのピンシャン体操やラジオ体操を通して、地域を巻き込みながら、地域とこどもとが仲良くなれる機会を作っていく必要があります。</p> <p>また、朝食については、朝食の欠食が学力の低下につながるということをよく耳にします。朝に学校の調理室で「子ども食堂」をやっている自治体があったことを聞いたことがあります。ふじみ野市は現在集団登校を実施しているので、なかなか厳しいとは思いますが、ゆくゆくは「子ども食堂」が朝にも実施できるようになれば良いなと思います。</p>
小栗委員長	<p>委員の皆様からは、現場の状況を踏まえた貴重な御意見をいただくことができました。資料1の5項目を掘り下げた内容が得られたと思いますので、この会議で皆様からいただいた御意見について、組み込めるところは組み込んで、こどもにやさしいまちづくりという条例を形作っていけたらと思っています。</p> <p>確認になりますが、公園、体力、食育、地域との交流、相談のこと等、御意見をいただいたふじみ野市における問題や課題を条例の中に組み込んでいくことが、ふじみ野市に必要な独自性のある条例につながると思っています。</p> <p>他に御意見が無いようであれば、議題の(2)条例構成案についてに移らせていただきます。</p> <p>それでは事務局から御説明をよろしく申し上げます。</p>
事務局	<p><b>【資料3、4及び5に基づき説明】</b></p>
小栗委員長	<p>他自治体の事例と比較しながら見ていただくと、全体的な構成などが把握でき、考えやすくなるかと思います。今、事務局からは一通りの構成内容と検討事項等御説明していただきましたが、本日の会議でその全部を検討するには時間が足りないなので、例えば、今回は他自治体と比較して、枠組みをどうするか、前文を設</p>

	<p>けるか否か、設けるとすれば前文の内容をどのようにするかについて議論ができればと思います。</p> <p>まず、資料5の奈良市の前文に目を通しながら考えていきたいと思います。前文では、奈良市の特徴が書かれており、その中で大人の願いがあります。こどもの現状なども書かれており、最後にまとめの言葉で条例の目的を示すという形で構成されています。</p> <p>奈良市をはじめ、他自治体は前文が設けられているところがほとんどですが、前文はあった方がよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>それでは、今回の条例では前文を設けることにしたいと思います。</p> <p>次に、内容について、感想でも良いので何かありませんか。</p> <p>前回、山城委員から、子どもの子はひらがなが良いという御意見がありましたがいかがでしょうか。ひらがなでの表記だと優しい感じがしますし、こどもが目にした時に親しみやすいと思います。ひらがなで表記にするということによろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>ありがとうございます。では、こどもの子はひらがなで進めていきたいと思います。</p> <p>その他に御意見はありますか。</p>
事務局	<p>奈良市の前文の中で「大人はこどものパートナーとして」という部分があります。この「パートナー」の解釈について疑義を唱える教授の記事を見ました。なぜかという、「パートナー」は対等関係を意味するもので、大人とこどもが対等という関係で良いのだろうかとの指摘で、あくまで大人はこどもを導くものであるという内容のことが書かれていました。これの考え方は非常に難しい この点について、委員の皆様はどうでしょうか。</p>
進藤委員	<p>「パートナー」という言葉自体が分かりにくいのではないかと思います。</p>
中村副委員長	<p>アンケート調査結果を見ると、こどもに対して大人は手本を示すべきもので、大人自身きちんとしないといけないものだと感じます。</p>
事務局	<p>やはり大人の責任としてこどもを育てていくというところをし</p>

柳川委員	<p>っかり規定されていた方が良いのではないかと思います。</p> <p>「パートナー」という言葉は、対等な関係性や恋人等、いろいろな意味合いがありますが、子どもに対して使うのはあまり聞いたことがありませんでした。</p>
小栗委員長	<p>「パートナー」という言葉には多種多様な意味があると思います。奈良市では何か思いがあって使ったと思いますが、定義がなされていないため、なかなか見えてこない部分があります。</p>
事務局	<p>研究されている教授の方々は、子どもを「パートナー」という言葉で表現をした条例があまりないため、非常に着目したのだと思います。</p>
小栗委員長	<p>一つの言葉を発したときにみんなが共通のイメージを持てるような表現にした方が良くと思います。注意しながら共通のイメージを持てるような言葉を使っていきたいと思います。</p>
事務局	<p>委員長がおっしゃるとおり、どうとでも取れる条例ではなく、市としてどういうことを子どもたちや市民の方に投げかけていきたいかということが、しっかり伝わる表現で伝えていくことが重要になってくると思います。</p>
吉田委員	<p>他自治体の条例を見てみると、前文については全体的に丸く納まるように作られているなと思います。ここはというところをストレートに訴えかけるものが良かった方が良いのではないのでしょうか。</p>
小栗委員長	<p>ふじみ野市が抱える問題や課題について、こうなってほしいというふじみ野市独自の願望が入ってくると良いということですね。</p>
事務局	<p>千代田区の条例の前文は特徴的で、前文及び本文ともに「である」調になっています。その他の自治体では前文が「ですます」調、本文が「である」調のところほとんどです。良し悪しがあると思いますが、この点について、委員の皆様はどのように感じていますか。</p>



小栗委員長	委員の皆様、条例の文体については、どのように感じていらっしゃいますでしょうか。個人的には「である」調だと上から押し付けられているような印象があるので、「ですます」調が良いのではないかと思います。「ですます」調は一緒に取り組んでいきましょうという感じがします。
風間清武委員	前文については分かりやすいように、「ですます」調の方が良いと思います。難しそうだとなかなか先に読み進もうとはならないです。
吉田委員	条例の内容が市民の方に協力していただくという内容のもので、「ですます」調の方が柔らかな表現で良いのではないかと思います。
小栗委員長	協力をお願いするような内容でもありますので「ですます」調で進めていくのはいかがでしょうか。 (異議なしの声) 他に事務局から補足説明等がありますでしょうか。
事務局	「ですます」調の点について確認がございます。前文だけを「ですます」調にするのと、本文についても「ですます」調にするのとどちらでしょうか。と言いますのは、条例の本文まで「ですます」調にすることは本市では初めての事例となります。できないわけではないと思いますが、非常に特殊な事例となりますので文書法務法担当に相談しながら進めていくこととなります。
中村副委員長	県内初の条例でもありますので、本文についても「ですます」調での表記が良いと思います。
小栗委員長	本文についても「ですます」調にするのは、本市では初の事例になるということでしたが、「ですます」調は用いず、条例の内容を分かりやすく伝えるために副読本を教材として使用するという方法もあります。また、市の今までのやり方というのにも考慮する必要があると思います。
事務局	それでは、今回の会議の内容を踏まえて修正した条例構成案をお示しする段階で再度御議論していただければと思います。

小栗委員長	<p>今回の会議の中で決定したことは、今後議論を重ねていく中で変更することもありますので、忌憚のない御意見をその都度いただければと思います。</p> <p>それでは、議題の（３）その他に移らせていただきます。事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>令和２年度の会議は今回が最後となります。引き続き令和３年度の第１回の会議は５月の連休明けを予定しておりますのでよろしくお願いいたします。会議日程については委員長との調整後に御連絡いたします。</p>
小栗委員長	<p>以上で議題３つが終わりましたので、令和２年度第３回ふじみ野市こどもにやさしいまちづくり条例（仮称）策定委員会を終了させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>